

区自立支援協議会の特徴的な取り組み・成果及び今後の計画（平成 31 年 3 月）

区	特徴的取り組み・成果	今後の計画
北	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 ▷北区・東区管内の相談支援事業所間で情報を共有・ケース検討を行い地域の課題を抽出。その課題について区自立支援協議会で、解決のための取組について検討。 ■ グループ別検討会の開催 ▷4つのテーマ別（相談支援体制・研修・緊急体制・療育等支援）に班を編成。それぞれの地域の課題等を検討。 ■ 研修会の開催（H30.12.19） ▷ピアサポーターによる普及啓発活動 in北区（こころの健康センター共催） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 ■ ケース検討会の開催 ■ 地域課題解決に向けた、グループ別検討会の開催（H30年度からの継続） ■ 研修会の開催（テーマ未定）
東	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会の開催 ▷ケース検討をし、個別支援のアイデア出しと地域課題出しを行った。 ■ ケース検討会の開催 ▷相談事業所連絡会で検討したケースについて、地域課題を整理し運営事務局会議に検討を要望した。 ■ 「就労」「児童」「権利擁護」の3つのテーマについて、グループごとに事業を企画し実施 「就労」 ▷特別支援の教員向けに、高等部知的障害学級の進路指導と卒業後の進路について研修を実施し、実情を共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会の開催 ■ 相談事業所連絡会と連携したケース検討会の開催 ■ 「就労」「児童」「権利擁護」といったテーマ別に、小グループに分かれての課題把握及び整理

	<p>「児童」</p> <p>▷発達障がい研修会を企画、講演のほか、小中学校教員、ひまわりクラブ指導員等と協議会委員での情報交換を行い、連携を深めるきっかけとなった。</p> <p>「権利擁護」</p> <p>▷経験豊富な講師を招き、「当事者の権利を考えて支援ができていますか？アセスメントができていますか？」を振り返る研修会を開催し、今後のアクションにつなげる機会とした。</p>	
中央	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケース検討会の開催 ▷ケース検討を通じた地域課題の把握と整理 ■ 相談支援事業所連絡会の開催 ■ 居宅介護事業所連絡会の開催 ■ 虐待対応検討会議の開催 ■ 地域活動支援センターへの訪問調査 ■ 就労支援 WG の立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 困難事例の検討によりスキルアップを図るとともに、抽出された地域課題について検討を行う。 ■ 相談支援事業所連絡会の開催 ■ 居宅介護事業所連絡会の開催 ■ 虐待対応検討会議の開催 ■ 就労支援 WG の開催
江南	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ひきこもり支援」の内部研修 ▷新潟市ひきこもり相談支援センター ■ 相談支援事業所新規参入への取組み ▷区づくり事業としての提案 ▷市の予算審議で不承認 ■ 障がい児セミナーの開催 ▷12.26 開催 参加者 67 名 ■ 介護保険と障がいサービスの連携に向けた勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ひきこもり支援」の取組み ▷ネットワークづくり ▷普及啓発 ■ 障がい児支援ネットワークの構築 ▷ ライフステージにおける関係機関代表による連絡会の立上げ，開催 ■ 包括支援センターと障がい福祉関係者による定期協議 ■ ケース会議の開催 ▷年 4 回，テーマ別を実施

秋葉	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい児支援 <ul style="list-style-type: none"> ▷つながる支援ファイル（地域における一貫した相談・支援）の試行運用。 ▷区内小中学校、放課後等デイサービス事業所、相談支援専門員を集めた「障がい児つながる支援セミナー」の開催。 ■ 医療と福祉の連携 <ul style="list-style-type: none"> ▷たん吸引が必要なケースについて、ケース検討を実施（計6件）。 ▷医療ケアが必要な障がい児者支援についての課題整理。 ■ 区ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷月に1回、区内相談支援員が集まりケース検討を実施。 ■ 警察との連携 <ul style="list-style-type: none"> ▷秋葉警察と、区内通所事業所区内グループホームが集まり「秋葉区障がい福祉事業所・秋葉警察署意見交換」の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい児支援 <ul style="list-style-type: none"> ▷放課後デイサービス利用者についてつながる支援ファイルの本格的運用の開始 ■ 医療と福祉の連携 <ul style="list-style-type: none"> ▷医療ケアが必要な障がい児者の家族が意見交換できるような場の検討及び実施。 ■ 災害時の支援について <ul style="list-style-type: none"> ▷協議会で新潟市の避難所体制について説明を受け、障がい者の災害時の対応について意見交換。
南	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童のワーキンググループにて3つの課題に整理 <ul style="list-style-type: none"> ①乳幼児の体制→把握（体制図、療育教室、保育園での発達支援）を実施 ②保護者、地域へ「障がい」の普及啓発→大通りコミ協の取り組み紹介 ③連携→関係機関合同研修会を活用 ■ 避難所情報等を共有できる学習会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・重度身体障がいのある方への避難計画書を作成し、地域の防災訓練に参加し 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療、福祉の連携協議の場 ■ ピアサポーター研修など、精神障がいに対する理解を深める機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ▷普及啓発の場 ■ 児童のワーキンググループの継続 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3つの課題の検討を継続 <input type="checkbox"/> 関係機関合同研修会を平成31年6月27日（木）開催予定 ■ 南区ケース会議の実施

	<p>た実例を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 南区ケース会議の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・インシデントプロセス法を用いたケース検討会と、サービス事業所と相談員を交えた意見交換会を実施 	
西	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西区がく・ふく連携会議（学齢後期）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷平成 30 年度特別高等支援学校卒業生について、支援関係者間での情報共有を行った。 ■ 生活支援拠点等会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷西区での緊急対応が必要となる事例について検討を行った。 ■ 相談事業所会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷インシデントプロセス法による事例検討を行った。 ■ 研修会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷「ピアサポーターによる普及啓発活動 in 西区」の開催。 ▷「障がい者雇用の状況と職場定着」をテーマに勉強会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域課題の解決に向けた、各専門会議の開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・がく・ふく連携会議 ・生活支援拠点等会議 ・高齢・医療連携会議 ・相談支援事業所会議 ■ 移動支援事業における地域課題の検討と分析（移動支援ワーキング） ■ 見学会、研修会の実施
西蒲	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西蒲区がく・ふく連携会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷進路調整とこども支援グループ別に開催。特別支援学校・福祉施設・療育支援関係機関と意見交換や情報共有をし、関係づくりを行った。 ■ 生活支援会議 <ul style="list-style-type: none"> ▷西蒲区内事業所アンケート実施。地域の資源活用を検討。 ■ 西蒲区ケース会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西蒲区療育支援会議（H31 年度から名称変更）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・がく・ふく連携会議とこども支援会議 ・保護者向け障がい福祉サービス説明会 ・療育関係者との情報交換会への参加 ■ 生活支援会議の開催 ■ 西蒲区ケース会議の開催

	<p>▷インシデントプロセス法により問題解決の方策を検討、事例から地域の課題を抽出し共有した。</p>	
--	---	--